

Music fusion in Kyoto

音楽祭

2026

室内楽コンサート 京丹後会場

京都ゆかりの名手と俊英たちによる珠玉の室内楽

～クラシックの名曲と文化空間の融合（フュージョン）～

海風とともに

～クラリネットと弦楽四重奏の調べ～



京丹後市の花：トウテイラン

11/8日

14:00開演（開場13:00）

公演時間約60分（休憩なし）

会場

京丹後市久美浜公会堂

ハイドン：弦楽四重奏曲 第77番 ハ長調「皇帝」

ブラームス：クラリネット五重奏曲 口短調より第1楽章

モンティ（中ヒデヒト編）：チャルダッシュ

ピアソラ（中ヒデヒト編）：リベルタンゴ

モーツァルト（中ヒデヒト編）：きらきら星

ほか



山田周
（ヴァイオリン）



荒井ひかる
（ヴァイオリン）



細川泉
（ヴィオラ）



山本裕康
（チェロ）



中ヒデヒト
（クラリネット・編曲）

連携事業 京丹後アートフェスティバル2026「出張！アーティスト」

開演前13:15～13:45

「音が生まれるまでの長い道のり」

多種ある弦楽器の成り立ちや、不思議のあれこれと、弦楽器製作者だからこそ知っている弦楽合奏の一期一会をお伝えします。

※チケットをお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。



講師 | 清水陽太

（弦楽器製作者 マスター・ヴァイオリンメーカー、関西弦楽器製作者協会会長）
2000年に渡伊後、クレモナ、ジェノヴァにて弦楽器製作・修理・修復を学び、製作活動を続け帰国。現在は京丹後市内でShimizuYota弦楽器工房 / Atelier Diapason Kyotoを開設。弦楽四重奏楽器の新作製作・修理・修復・調整・販売を行う。

「出張！アーティスト」は、アーティストやクリエイターがまちに飛び出し、地域の活動や施設とコラボレーション。表現をととして、文化芸術とともに楽しむ、京丹後アートフェスティバル2026のプログラムです。

京丹後アートフェスティバルは、2026年9月～2027年3月の会期中、作品鑑賞を楽しむ「みるプログラム」と、多様な表現を体験する「知るプログラム」を京丹後市内各所で展開します。プログラムの詳細は、京丹後市HPまたは、SNSからご確認ください。（Instagram: @kyotango_artfestival）



京丹後市HP

チケット販売

【窓口購入】

■ 豪商稲葉本家

京丹後市久美浜町3102（京丹後市久美浜公会堂より徒歩5分）

0772-82-2356（9:00～16:00 水曜休）

チケット代金には、豪商稲葉本家名物ぼたもち（あんこ・きなこ2個セット）が含まれます。終演後、会場にてお渡しいたします。

【オンライン購入】



teket

Teket 申し込み
（電子チケット）



チケットぴあ
申し込み

チケット発売中

全席自由

一般1,700円

学生1,200円

※ぼたもち付き

お問い合わせ

●コンサート・事業について

Music Fusion in Kyoto音楽祭実行委員会事務局（京都府文化政策室内）075-414-5140（平日8:30～17:15）

●チケットについて

一般社団法人Style KYOTO 080-6922-7374（平日10:00～17:00）

主催：京都府、Music Fusion in Kyoto音楽祭実行委員会 共催：京丹後市、京丹後市教育委員会

協力：特定非営利活動法人わくわくする久美浜をつくる会 後援：NHK京都放送局、エフエム京都、京都新聞、KBS京都 協賛：株式会社UPDATER



山田周 (ヴァイオリン)

1999年生まれ。洛星高校・京都市立芸術大学卒業。バイオリンを功刀丈弘、尾崎平、四方恭子、岩谷祐之、黒川侑の各氏に、室内楽を豊嶋泰嗣、向山佳絵子の各氏に師事。KOBÉ国際音楽コンクール優秀賞・神戸新聞社賞。高山右近列福式では大阪城ホールにてコンサートマスターを務める。2021年青山音楽財団奨学生。ソリストとして下野竜也氏と共演。水戸室内管弦楽団などに参加。コンサートマスターとして中部フィルに客演。ポップスからメタルに至るまでのアレンジ・レコーディング・ライブサポートも手掛ける。



荒井ひかる (ヴァイオリン)

2001年生まれ。桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学卒業。国内コンクール多数入賞の他、卒業演奏会含む成績優秀者による学内選抜演奏会にも出演。現在、国内主要オーケストラに客演する他、2023年9月より兵庫芸術文化センター管弦楽団 (HPAC) にフォアシュペーラーとして入団。



細川泉 (ヴィオラ)

京都市立芸術大学院在学中にヴィオラに転向し、修了。ジュネーヴ高等音楽院において今井信子氏の元で研鑽を積み、修了。スイスのヴェルビエ音楽祭に参加。2018年～2025年5月九州交響楽団 首席ヴィオラ奏者。長岡京室内アンサンブルメンバー。2022年より京都市立芸術大学非常勤講師。2025年6月より拠点を関西に移す。



山本裕康 (チェロ)

桐朋学園大学卒業。第56回日本音楽コンクール第1位、第1回日本室内楽コンクール第1位等数々の受賞歴を持つ。卒業後キジアーナ音楽院で室内楽のディプロマを取得。東京都交響楽団首席奏者、神奈川フィル首席奏者、京都市交響楽団特別首席チェロ奏者を歴任。現在、東京音楽大学教授。日本チェロ協会理事。



中ヒデヒト (クラリネット・編曲)

京都市立京都堀川音楽高等学校、東京藝術大学を卒業後、バリ地方国立音楽院にて学ぶ。サイトウ・キネン・オーケストラ及び水戸室内管弦楽団に参加。TVドラマ、CM、映画など年間300本以上のプログラムの録音に参加。作編曲家としても活動しており室内楽のコンサートを定期的にプロデュースしている。京丹波町出身。

Music Fusion
in
Kyoto
音楽祭
2026

Music Fusion in Kyoto 音楽祭について

誰もが親しみやすい文化である音楽を通じて世代を超えた人と人との繋がりを育むとともに、様々なジャンルの音が融合し、地域それぞれの魅力も発信して京都中を彩る音楽祭を開催。こども向けの教育プログラム「奏プログラム」ではプロの音楽家が、府内小中学校等を訪問し、鑑賞型や体験型の公演・指導を実施しています。



Music Fusion in Kyoto
音楽祭特設サイト

2026年度 室内楽コンサート開催会場



Access

京丹後市久美浜公会堂 (京丹後市久美浜町3131-2)

- 「京丹後大宮IC」から車で約40分。※駐車場あり(無料)
- 京丹後鉄道「久美浜駅」から徒歩約15分。

豪商稲葉本家 (京丹後市久美浜町3102) ～豪商稲葉本家とぼたもちの歴史～

稲葉家とぼたもちの歴史は古く、江戸時代の飢饉の際には、蔵を開いて人々に粥やぼたもちを振る舞ったと伝えられています。また、明治初期には「久美浜県」誕生を記念し、ぼたもちを人々に配ったとも伝えられています。13代稲葉市郎右衛門は、旧国鉄京津線の開通に尽力するなど地域の発展に大きく貢献しました。稲葉本家の名物「ぼたもち」は、地域の歴史と人々の絆を今に伝える味として受け継がれています。

京丹後市久美浜公会堂から
徒歩5分



○本会場は靴を脱いでご鑑賞いただきます。○やむを得ない事情により、出演者、プログラムなどが変更になる場合がございます。○未就学児のご来場はご遠慮ください。○チケット料金はすべて消費税が含まれています。○学生券購入の方は、公演当日、入口または窓口にて学生証を提示いただくことがあります。学生証が無い場合は、一般券との差額をいただきます。○公演中止の場合をのぞき、チケット購入後のキャンセル、変更はできません。チケット紛失などによる再発行はできません。○原則、演奏会が開演すると中へ入場はできません。開演時間に間に合うよう、余裕をもって会場までお越しください。○演奏中の写真撮影、録音・録画・携帯電話の使用はお断りします。○車いすなどでご来場される方は、事前にお問い合わせください。